



企画展 鎌田清衛写真展「青森の風土と人」を終えて

令和2年9月4日(金)から10月18日(日)まで開催した「鎌田清衛写真展『青森の風土と人』」は無事終了しました。この企画展は、平成30年2月に鎌田清衛氏(1926～2016)の御遺族から寄贈された写真を中心とした180点を展示しました。昭和30年代前半、鎌田は、国鉄に勤めるかたわら、小島一郎(後に東京で活躍した写真家)の津軽地方を中心とした青森県での撮影に同行し、農村・漁村の風景とそこで暮らす人々の姿を数多く撮影したアマチュア写真家でした。鎌田は、津軽の冬景色を数多く撮影しており、この風景への思い入れを強く感じさせます。その後も生涯を通じて活動を続け、青森県写真連盟会長など県の写真界の役職を務めました。

今回の展示では、「津軽～土と人と」「津軽断章」「津軽風韻」という3つの個展をはじめとする各種展示会に出品された写真のほか、ネガフィルムや小型のプリント等の形で保存されていた写真や受賞作のアルバムの写真から拡大複写したものも展示しました。彼が撮影した1964年東京五輪の聖火リレーの様子をネガフィルムをもとにして作成したデジタル画像のスライド上映も行い

ました。写真以外の資料としては、鎌田と小島一郎の作品が掲載された写真雑誌、昭和30年代当時鎌田が愛用していたカメラなども展示しました。関連行事は、新型コロナウイルス感染症の流行により、担当学芸員による土曜セミナーのみとなりましたが、44名の方にご参加いただきました。

観覧者の方の中には、写真教室で鎌田から教えを受けたという方も観覧され、鎌田の写真界への長年にわたる貢献と、その存在の大きさを知ることができました。また、年配の方々が昔の写真の前で当時を思い出し、それぞれの思い出に浸りながら、会場で感慨深げに語り合う光景がよく見られました。

この写真展の開催を通じ、鎌田の写真の美しさと、そこに記録された県民の姿を将来に伝えていく必要性を強く感じました。写真展を開催するにあたってご協力いただきました皆様方に対しまして、感謝を申し上げます。

(学芸主幹 佐藤良宣)

ミニ企画展示「鷹山宇一と世界のチョウ」

令和2年9月4日(金)～10月18日(日)の日程で、ミニ企画展示「鷹山宇一と世界のチョウ」を開催しました。

このミニ企画展は、令和元年度に七戸町立鷹山宇一記念美術館で開催された『宇一が描いた蝶展』の一部の作品をお借りし、それに加えて、当館が所蔵する「世界のチョウ」の、特に美しいものを選んで組み合わせせたコラボ展示です。

鷹山宇一記念美術館からお借りした作品は、生涯にわたり蝶を描き続けた宇一の絵画8点(複製写真)と、それらの絵を実際の蝶を使って再現したもののセットでしたが、そのユニークな手法に、来館者は食い入るように見入っていました。



宇一の絵「少年の日の佛陀」と再現した標本

展示の後半では、世界を6つの動物地理区に分けて、地区ごとに代表的で美しい蝶を選んで紹介しました。自然界がつくり出した美の極致ともいえる蝶の美しさに、多くの人が魅了されていました。

アンケートの感想には、「絵と標本での本物を見比べての展示はとても興味深かった」、「とても面白い企画です」、「初めてチョウをじっくり見ました。美しさに感動です。」、「世界の蝶、美しすぎる。」や、コラムで扱った中村哲先生とアウトクラートルウスバシロチョウに関して「中村哲先生と蝶とのつながりを初めて知りました。しばし読み込みあらためて蝶の写真に見入ってしまいました。」など多くの声が寄せられ、好評でした。

(主任学芸主査 太田正文)



「世界のチョウ」展示コーナーの一部

あおもり街かど探偵団 ～青森市長島・古川地域と旧線路通り周辺の歴史～

令和2年10月10日(土)、すがすがしい秋空のもと、地域の身近な歴史などに触れる街歩き企画「あおもり街かど探偵団」を開催し、参加者20名とともに街をめぐり歩きました。

今回は青森市の長島・古川地区のうち、特に国道4号・7号の南側の地域、ならびに、旧線路通り沿いと青森駅東口周辺地域の歴史や発展について触れるコースを設定しました。国道4号・7号の南側の地域は、明治以降の市街地拡大に伴って発展した地域であり、また、旧線路通りは初期の東北本線の線路跡で、現在は一方通行の道路となっています。

まず出発地点の廣田神社で、^{ごんねぎ}権禰宜の名久井さんから神社の歴史や同社で祀る進藤庄兵衛正次の紹介をしていただきました。その後街歩きに出発し、最初の長島地区では水路跡や旧道跡などをめぐるとともに、棟方志功の母校である長島小学校などを訪れました。続いて旧線路通りを青森駅方向へ進みながら、旧青森操車場の



廣田神社権禰宜の名久井さんによる説明

歴史やバス路線の変化、旧線路通りと南北に直交する八甲通り、旭町通りなどの特徴、古川小学校の旧校舎や付近の水路跡などを紹介しました。最後は、古川跨線橋下を抜けて青森駅前地区に至り、駅周辺の発展や青森駅舎の変遷について触れました。

今回は古くから残っている建築物が少ないコースでしたが、水路や線路の跡、旧道の存在、通り沿いの街並みの変化などを感じていただけたのではないかと思います。参加者の方々からは「廣田神社でのお話はとても興味深かった」、「道の狭さや広さ、真っすぐではない理由などについて考えることができた」、「バス路線や古い電話番号の話など、人々の生活がみえる話が興味深かった」などの感想をいただきました。

(研究主査 滝本敦)



長島小学校創学100年記念の石碑
(棟方志功揮毫の「汝我志磨(ながしま)の文字を刻む」)

臨時休館のお知らせ

県立郷土館の建物について、耐震診断により、耐震診断基準の目標値を下回る部分があることが判明したことから、来館者の安全確保に万全を期するため、令和2年10月20日(火)から当面、**臨時休館**とさせていただきます。

当館の展示を楽しみにされている皆様にはご迷惑をおかけしますが、何とぞご理解のほどよろしく願いいたします。

展示会の会場及び会期変更のお知らせ

当館での開催を予定しておりました次の展示会につきましては、会場及び会期を変更して開催いたします。

◇金魚美抄2020
～金魚を描くアーティストたち～
会期：令和2年11月28日(土)～
令和3年1月11日(月・祝)
会場：三内丸山遺跡センター

◇第10回 東奥児童書道展
会期：令和3年2月18日(木)～
2月28日(日)
会場：東奥日報新町ビル

金魚美抄2020

～金魚を描くアーティストたち～



江戸時代から庶民に愛され続けてきた金魚。浮世絵にも登場するなど、古くから絵画や陶芸などにも描かれます。それは現代でも同じ。金魚を愛してやまないアーティストが思い思いに描き創造する金魚アート約200点を一堂に展示。さまざまな金魚アートを心ゆくまでお楽しみください。

開催期間：令和2年11月28日(土)～令和3年1月11日(月・祝)
時間：9:00～17:00
場所：三内丸山遺跡センター（青森市三内丸山305）
料金：一般・大学生1,000円(800円)、
小学～高校生600円(500円)

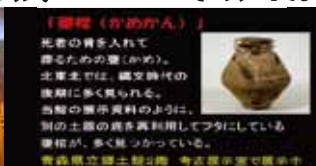
※()は20人以上の団体料金
※未就学児は無料 ※常設展は別料金
※障がい者手帳をお持ちの方は当日手帳等提示でご本人及び付添いお一人まで当日料金の半額となります。

お問い合わせ：東奥日报社事業部
〒030-0801 青森市新町2丁目2-11
TEL 017-718-1135(平日9:00～17:00)



青森県立郷土館公式YouTubeチャンネル

キョドチャンネル



キョドチャンネルとは、青森県立郷土館の資料や展示室を学芸員が楽しくわかりやすく紹介していく気張らない動画チャンネルです。

キョドチャンネル



で検索!!



このQRコードからアクセスできます

休館中も

土曜セミナー あります！！

【第12～16回】

当館は、10月20日から臨時休館となりましたが、今年度の土曜セミナー（第12～16回）は、予定を変更して実施いたします。受講される皆様にはご不便、ご迷惑をおかけいたしますがどうぞよろしくお願いいたします。

時間：10:00～11:30
会場：青森県立図書館 4階 研修室
受付：当日会場にて9:30から受付開始
定員：30人（先着順）

実施日時、会場を変更しました。
ご注意ください。
事前申込み不要、どなたでも無料で
受講できます。また、当セミナーは
「あおもり県民カレッジ」単位取得
講座（1回2単位）です。



| 回 | 期日 | テーマ | 講師 | |
|----|-----|-----|-----------------------------------|----------|
| 12 | 12月 | 19日 | ハエ、アブ、カの世界 | 中村 剛之 G |
| 13 | | 26日 | 家々を訪れる名もなき神々 | 小山 隆秀 学芸 |
| 14 | 1月 | 16日 | 縄文遺跡を活かす保存・整備・活用 ～多様な分野の協力と手法～ | 一町田 工 G |
| 15 | | 30日 | 困難を克服してきた青森県民 | 中園 裕 G |
| 16 | 2月 | 20日 | 青森市内の中世城館を歩く | 成田 滋彦 G |

※ G…当館ゲストキュレーター 学芸…当館学芸課員

当日、直接会場へお越してください。なお、当セミナーは引き続き感染症拡大防止対策を講じた上で実施します。マスク着用、受付時の検温、受付票の記入、手指消毒等にご理解とご協力をお願いいたします。

青森県立郷土館サテライト考古展示室with奈良国立博物館収蔵資料

場所：三内丸山遺跡センター1階ギャラリー（企画展示室となり）

期間：令和3年1月23日（土）～2月21日（日）〔休館日：1月25日〕

時間：9:00～17:00 料金：三内丸山遺跡センター入館料が必要となります

奈良国立博物館には青森県ゆかりの資料1万点が収蔵されています。

その中から初公開となる15点を紹介します。あわせて、これらに関連する郷土館資料も展示します。この機会にぜひご覧ください。



休館中も展示
します。

（写真：南部町寺下遺跡 人面付壺形土器 / 奈良国立博物館所蔵）



ホームページ



ブログ